

# 進路だより

令和8年1月 進路指導部

## <1・2年生 1月校外模擬試験>

1・2年生は、1月17日（土）進研総合学力テストを行います。部活動の大会などで公欠となる場合は、1月18日（日）に追試を行う予定です。当日は、学年により時間割が異なるので、休み時間などお互いに配慮してください。また、前日までに机の中を空にしてください。

昨年度の各教科・科目の全国平均点を記載するので、各自の目標を設定しましょう。

1年生；進研総合学力テスト・1月

英語 33.3点／100点

国語 37.8点／100点

数学 26.3点／100点

2年生；進研総合学力テスト・1月

英語 62.2点／200点

国語 64.9点／200点

数学B 62.7点／200点

【地歴は、選択科目】

日探 36.8点／100点

地探 38.6点／100点

世探 37.7点／100点

【理系；物理・生物は選択科目】

物理 42.2点／100点

化学 38.7点／100点

生物 39.7点／100点

【文系；化学基礎と生物基礎は合わせて1科目】

化学基礎 15.2点／50点

公共政経 37.2点／100点

生物基礎 17.7点／50点

※ 数学は、出題分野が提示されているので、公式などを復習しておきましょう。

2年生は、地歴・公民や理科も出題分野が提示されています。苦手分野を見直しておくとよいでしょう。

## <大学入学共通テスト>

3年生の皆さんには、いよいよ1月17日（土）と18日（日）に、大学入学共通テストです。

受験の前に、今一度「受験案内」と「受験上の注意」を読んでおきましょう。「受験上の注意」の裏面に、試験当日の所持品チェック欄があります。次の1～7になりますが、詳しい記載内容は省略しましたので、必ず「受験上の注意」で確認してください。

今年度から「身分証明書」が必要です。生徒証を持参しましょう。

1 受験票（各自印刷） 2 身分証明書（顔写真付き）

3 黒鉛筆（H, F, HBに限る） 4 プラスチック製の消しゴム

5 鉛筆削り 6 時計

7 受験票に「上履き持参」と表示してある場合は、上履き・下履きをいれる袋

## <共通テストは落ち着いて！テスト後も切り替えて！>

### **大学入学共通テストは、落ち着いて問題に向き合いましょう。**

共通テストの最大の敵は“時間”です。長良高校の皆さんマーク式の試験で難易度が高いと思う理由のほとんどは時間が足らない…という場合です。しかし、皆さんは、ここまで多くの模試や問題演習を行ってきました。どこで時間を使うか、問題を解く順など、皆さんのが自分自身で培ってきたノウハウがこれまでの練習で勝手に身についていますので、安心して試験に臨んでください。焦らずに問題に向かえば、授業で言われたことしか問われないと気付くはずです。

自分自身が積み重ねてきたものを信じて、1問1問あきらめず、粘って粘って粘り切りましょう。

### **大学入学共通テストは、大きな節目であるが、決してゴールではありません。**

大学入学共通テストを終えると、各業者から国公立大学の合否ボーダーラインなどが報道されますが、当然業者によって異なります。国公立大学の合否は、共通テスト+個別学力試験+調査書などで決まります。また、共通テストと個別学力試験の配点は、大学および選抜の日程【前期・中期・後期】で異なります。共通テストが終わったら、次に切り替えてください。

各業者のリサーチは『共通テスト・個別・総合判定』の順に記載されていますが、総合判定が重要です。たとえば『A・E・D』であれば合格の可能性が低く、『C・A・B』であれば合格の可能性が高いこととなります。また、河合塾とベネッセでは母集団が異なり、アルファベットの意味も異なります。個人成績票の記載をよく読んでください。単純にアルファベットだけを見るだけではなく、定員なども調べましょう。大学によって、合否混在ゾーンがほとんど無い場合【共通テスト逃切り型】と合否混在ゾーンがかなりの得点帯である場合【二次逆転可能性型】があります。さらに、実際の出願者数の変動を予測するには、昨年度と一昨年度の合否度数分布表を参考にすると良いでしょう。隔年現象が見られることは、少なくありません。

なお、後期日程の倍率は、とても高い倍率で報道されますが、前期日程の合格者等は受験せず、追加合格は後期日程で行われることが多いので、必ず後期日程も出願することが大切です。毎年、国公立大学後期日程での逆転合格や追加合格の例が見られます。なお、私立大学の併願先として受験する場合も考えられます。本学受験だけではなく、名古屋受験や大阪受験などができる大学もあります。各業者のリサーチの結果を参考にして、前期日程・中期日程・後期日程を同時出願しましょう。

個別学力試験対策としては、過去問を赤本などで10年分位を演習することです。そして、多くの大学で『過去問題活用宣言』をしているため、同じ学部系統の他の大学の過去問を解くことも有効です。もちろん長良高生は、共通テスト後もまだまだ伸びます。最後の最後まで諦めないことが大切です。